

ドイツ語学科のみなさん

明けましておめでとうございます。
本年のみなさんのご健康とご多幸をお祈りいたします。



前回のホームページ更新はクリスマス・イヴの日でした。ちょうど2週間後、秋学期授業再開となる今日は、松の内（お正月の松飾りを飾る期間）の終わりの日ですね。ドイツ語圏のキリスト教徒の人たちにとっては、1月6日（顕現節／公現祭）までが大きくみた場合のクリスマスの期間ですから（クリスマスツリーも1月6日まで飾ります）、クリスマス明けとなります。2週間の冬休み、ゆっくり休養できましたでしょうか？ 私は、この期間にテスト問題を作成したり、提出された卒論を読んだりしていました。なかにはオリジナリティがあって素晴らしい卒論もあり、発表の機会が設けられればと思ったりもしました。感染症対策で図書館等が使えない期間があって、卒論執筆がしにくかった人もいると思いますが、一方で、自宅にいる時間が増えて、じっくり卒論に取り組めた面もあるのかとも思いました。ドイツ語学科では、卒論は必修ではなく、わずか4単位にしかならないのですが、じっくり時間をかけて卒論に取り組み、まとめあげたのは素晴らしいと思います。どんな仕事に就くとしても、家庭生活のなかでも、卒論を書いた経験は活かせると思います。

それから、昨年末に、ドイツ語学科の2人の先生から、ご結婚のご報告をいただきました。明るいニュースが少ないなか、嬉しいですね！

前回の更新時から大学事務も冬期休業期間でしたので、新しい事務連絡は特にありません。今後の感染状況への対応等につきましては、大学HPをご確認いただければと思います。繰り返しになりますが、通信環境が不安定な方、専用のPCが用意できない方などは、教務課で申し込むと、大学の教室で大学のPCを使って授業を受講することができます。授業内試験などもあると思いますので、ぜひ早めにご検討ください。

<https://www.dokkyo.ac.jp/information/2020/20201110003926.html>

2021年が、みなさんにとって素敵な一年となりますように。

1月7日

ドイツ語学科長 木村佐千子